





第3編

第1期 基本計画

HAPPY SMILE PLAN

—笑顔と笑顔をつなぐ街 四街道—

- 1 計画の考え方
- 2 まちづくりの基本方針
- 3 計画の体系
- 4 重点プロジェクト
- 5 分野別基本計画
- 6 将来に向けた持続可能な行財政運営

この基本計画は、基本構想に掲げる「幸せつなぐ 未来への道しるべ」に示す4つのまちづくりの道を踏まえ、今後の取組方針を示す四街道市の最上位の計画となります。

今後、基本計画は、基本構想の期間である20年間のうち、社会情勢を踏まえながら5年ごとに見直し、第1期基本計画から第4期基本計画に分けて計画を策定し、第1期基本計画は令和6年度を初年度として令和10年度を目標年度とします。

基本計画は、分野ごとに目標を設定し、それを実現するための政策・施策を体系的に定めるほか、地方創生やSDGsの視点も踏まえ、取組を推進します。

計画とSDGs（持続可能な開発目標）

SDGsとは、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことであり、地球上の誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。平成27年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられ、2030（令和12）年を期限とし、17のゴールと169のターゲットで構成されています。

また、国のSDGs推進本部において平成28年に決定し、令和元年に改定した、SDGsの達成に向けた中長期的な国家戦略である「SDGs実施指針」では、地方自治体のさまざまな計画にSDGsの要素を反映すること等が期待されています。

基本構想に掲げる「幸せつなぐ 未来への道しるべ」は、それぞれが想う幸せな未来につなぐための4つのまちづくりの道を示すものであり、SDGsの考え方（地球上の誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現）とも重なるものであることから、計画に位置付ける諸施策の推進は、SDGsの達成に寄与するものになります。

そのため、この計画では、各政策とSDGsとの関係を整理するとともに、わかりやすく明示し、まちづくりの総合的な観点からSDGsを推進します。



1

第1期基本計画名称

(HAPPY SMILE PLAN –笑顔と笑顔をつなぐ街 四街道–)

「幸せつなぐ 未来への道しるべ」は、4つのまちづくりの方向性を示し、さまざまな年代や立場からみた、それぞれが想う幸せな未来につなぐことです。その先の向こうには、世代や立場を超え、多様な人々がつながり合い、支え合いながら、みんなが笑顔で、微笑みに包まれた日常が広がっています。

この笑顔をつないでいくためには、行政だけではなく、まちづくりに関わるすべての人が力を合わせて、この計画をみんなで共有し行動することが大切です。

そこで、この趣旨を踏まえ、第1期基本計画が親しみやすい計画となるよう、名称を

「HAPPY SMILE PLAN –笑顔と笑顔をつなぐ街 四街道–」としてみんなで推進していきます。

2

まちづくりの推進力（エンジン）

今後、多様化する行政課題に柔軟に対応し、計画に基づく施策をより効果的に進めるためには、まちづくりのための推進力（エンジン）が必要です。

この計画では、市民協働、公民連携、デジタル化、シティプロモーション^{*1}の4つをまちづくりの推進力（エンジン）として設定し、政策を展開していきます。

市民協働	地域ごとのさまざまな課題への対応にあたっては、市民をはじめとした地域の担い手と連携・協力した共創のまちづくりにより、各施策を効果的に推進します。
公民連携	行政と民間事業者や大学などが連携し、それぞれが持つさまざまな強み（技術・知識・ノウハウ・資本等）を活かした共創のまちづくりにより、各施策を効果的に推進します。
デジタル化	日々進化し続けるデジタル技術を効果的に活用し、市民サービスの向上や効率的な行財政運営を図り、各施策を効果的に推進します。
シティプロモーション	四街道市の価値をさらに高め、認知度向上や交流人口・関係人口の増加につなげるため、地域資源をはじめ、さまざまな市の魅力的な取組を積極的に発信することにより、各施策を効果的に推進します。

3 みんなで創るみんなの計画

四街道市では、市民が行政活動に参加し、市民自治による暮らしやすいまちづくりを行う市民参加や、より良い地域社会を実現するため、市民をはじめとしたさまざまな主体が連携・協働しながら自主的にまちづくりに関わっていく市民協働の取組を推進しています。

この総合計画の策定にあたっては、さまざまな市民参加を通じて、多くの方から幅広い意見や想いを聴き、みんなで創るみんなの計画となるよう策定したものです。

計画の実施段階においても、自主的にまちづくりに関わっていくさまざまな主体と連携していくなど、みんなで計画を共有し推進していきます。

4 計画の進行管理

計画の推進にあたっては、計画の実効性を確保するため、指標に基づく達成度評価や計画と予算の連携を強化するなど、適正な進行管理に努めます。

進行管理にあたっては、庁内横断的組織である総合計画推進本部のもとで、情報の共有と全庁的な事業展開を進めるとともに、総合計画審議会での意見を踏まえ、PDCAサイクル（計画（Plan）－実施（Do）－評価（Check）－改善（Action））の実施により事業の進捗状況や課題を的確に把握・分析することで、限りある行政資源の効果的な活用による効率的な事業の推進を図ります。

また、計画の実施にあたってはみんなで創るみんなの計画となるよう、計画の中間年度においては社会的環境の変化に合わせて実施計画の見直しを図るとともに、最終年度における総括にあたっては、各まちづくりの推進に関する課題を整理して、未来に向けたさらなる改善につなげます。

なお、計画の進捗状況については、総合計画審議会における意見とともに市ホームページなどで公表します。

5 未来につなげる行財政運営

社会的環境の変化が続き、先行きが見通せない中であっても、多様な市民ニーズを踏まえ、未来に向けたまちづくりを継続的に推進していくためには、将来にわたり持続可能な行財政運営を行うことが必要不可欠です。

そのため、経常的な経費の抑制と財源の確保に努めるとともに、デジタル技術の活用による業務の効率化をはじめ、公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本指針のもと、公共施設等の統廃合や機能集約を視野に入れた計画的な更新や長寿命化を図りながら、持続可能な行財政運営に取り組みます。

将来財政の見通しについて

計画の推進にあたり基盤となる市の財政見通しについて、令和6年度から10年度までを次のとおり見込み、持続可能な行財政運営を図ることとします。

図 財政の見通し（令和6年度から10年度まで）

区 分		金額（百万円）	構成比（%）
歳入	市 税	60,526	33.5
	地方交付税等	35,505	19.7
	国・県支出金	53,981	29.9
	市 債	9,388	5.2
	そ の 他	21,152	11.7
	歳 入 計	180,552	100.0
区 分		金額（百万円）	構成比（%）
歳出	事 業 費	139,263	77.1
	計画事業費		
	・新規事業等に係る経費	15,093	8.3
	・普通建設事業などの投資的経費		
	その他事業費	124,170	68.8
	人 件 費	29,623	16.4
公 債 費	11,666	6.5	
歳 出 計	180,552	100.0	

※本見通しは、平成30年度から令和4年度までの決算の平均値や平均増減率等をもとに、予算ベースにて試算しています。

財政見通しについての考え方

歳入については、人口増加による市税収入の増加が続くものの、昨今の社会経済情勢の変化による物価変動等、その見通しは不安定なものとなっています。

歳出については、子育て支援等や高齢化の進行に対応するための社会保障関係経費の増加傾向が引き続き見込まれているほか、老朽化が進む公共施設等の適切な更新・長寿命化など、さまざまな課題へ対応していく必要があります。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率^{*1}は、社会保障関係経費の増加傾向が継続することから、財政の硬直化の進行が見込まれており、歳入面における国・県支出金の確保や有利な市債の活用、歳出面における各事業のさらなる見直しを図るなど、今後も持続可能な財政運営に向けた取組を推進します。

幸せつなぐ 未来への道しるべ



重点
プロジェクト



-Yotsukaido Happy Road-



この計画は、未来に向けた持続可能なまちづくりとして、将来的に見込まれる人口減少や人口構成の不均衡への対応をはじめ、社会的環境が変化する中であっても、いつまでも住み続けたい、みんなが住んでみたい四街道へ向かって推進していくものです。

これは地方創生の基本的な考え方である「それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していく」とも一致するものであり、また、SDGsの考え方である「地球上の誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現」とも重なるものです。

そこで、子育て世代を中心とした若い世代の転入・定住促進をはじめとする地方創生の取組やSDGsの視点を踏まえるとともに、基本構想の実現に寄与する事業や、優先的・重点的に取り組む事業を「重点プロジェクト」として設定します。

「重点プロジェクト」は、笑顔と笑顔をつなぐ街に向け、「幸せつなぐ 未来への道しるべ」が示す4つのまちづくりの道ごとに定め、積極的に推進します。

4つのまちづくりの道	地方創生				SDGs : 17のゴール
	ひと	みらい	しごと	くらし	
未来を応援する道		●		●	        
ふるさとを誇れる道	●		●		     
子どもがまんながの道		●	●		      
人によりそうやさしい道	●			●	      

地方創生の取組

国は、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」を定めて以降、人口減少・少子高齢化の進行への対応と、将来にわたって活力ある日本地域社会の維持を目指し、地方創生の取組を推進してきました。令和5年度からは、デジタルの力を活用した地方創生のさらなる深化・加速化により、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指し、引き続き、4つの方向「①地方に仕事をつくる②人の流れをつくる③結婚・出産・子育ての希望をかなえる④魅力的な地域をつくる」のもと施策を推進しています。

四街道市においては、これまで培ってきたさまざまな地域の魅力を活かしながら、地方創生に向けて「ひと・みらい・しごと・くらし」の4つの方向に重点的に取り組んできました。今後、この4つの方向を「幸せつなぐ 未来への道しるべ」が示す4つのまちづくりの道として整理した上で、重点プロジェクトを踏まえ、地方創生の取組を積極的・重点的に推進します。

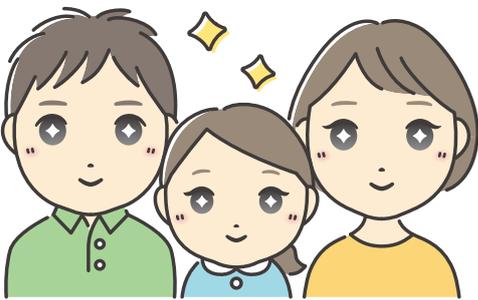


未来を応援する道

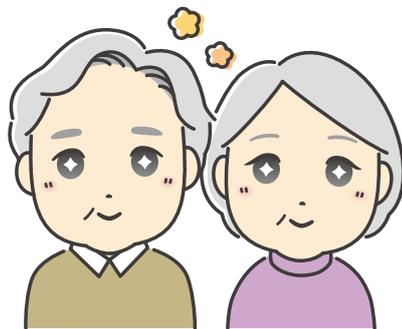


ふるさとを誇れる道

4つのまちづくりの道



こどもがまんなかの道



人によりそうやさしい道

★新規事業・☆拡充事業に関する取組

	重点事業一覧	関連する主な施策No.
未来を応援する道	1 ★ 消防オープンイノベーション事業（消防本部総務課）	2-1
	2 都市計画道路整備事業（市街地整備課）	3-1 / 11-1
	3 ☆ 母子保健事業（健康増進課）	4-1
	4 ★ YOTSU♥LOVE事業（政策推進課）	6-1
	5 ☆ 結婚新生活応援事業（政策推進課）	6-1
	6 キャリア教育 ^{*1} 推進事業（指導課）	7-1 / 7-2
	7 中学生が描く未来事業（総務課・指導課）	7-1
	8 ★ 図書館魅力創造プロジェクト事業（社会教育課）	9-1
	9 三世代同居・近居支援事業（建築課）	10-1
	10 ★ 環境アクションポイント事業（環境政策課）	12-1
	11 ☆ ごみ減量化・リサイクル推進事業（廃棄物対策課）	12-3
	12 ★ 夢応援事業（政策推進課）	14-1
	13 ★ ふるさとの味お届け便支援事業（政策推進課）	14-1
	14 みんなで地域づくりセンター ^{*2} 運営事業（みんなで課）	15-1
	15 コラボ四街道事業（みんなで課）	15-1
	16 ★ 自治体DX推進事業（デジタル推進課）	行財政運営
	17 ファシリティマネジメント ^{*3} 推進事業（管財課）	行財政運営
ふるさとを誇れる道	1 文化財保護管理事業（文化・スポーツ課）	9-2
	2 ランニングイベント事業（文化・スポーツ課）	9-3
	3 緑化推進事業（都市計画課）	10-2
	4 ☆ 自然環境対策事業（環境政策課）	10-2 / 12-2
	5 ★ 農商工等連携推進事業（産業振興課）	13-1
	6 中心市街地等活性化事業（産業振興課）	13-1 / 13-2
	7 産業まつり実施事業（産業振興課）	13-1 / 13-3 / 14-1
	8 ★ 親子深まる絆事業（政策推進課）	14-1
	9 ★ 夢応援事業（政策推進課） <<再掲>>	14-1
	10 ☆ 観光支援事業（産業振興課）	14-1
	11 ★ 笑顔の灯り事業（政策推進課）	14-1
	12 ★ モニュメント新設事業（政策推進課）	14-1
	13 ★ シンボルツリーde銘板制作事業（政策推進課）	14-1
	14 ふるさと応援推進事業（産業振興課）	14-1 / 14-2
	15 ふるさとまつり事業（みんなで課）	14-1 / 15-2
	16 まち撮り四街道事業（みんなで課）	14-2
	17 シティプロモーション ^{*4} 推進事業（政策推進課）	14-2

	重点事業一覧	関連する主な施策No.
こどもがまんなかの道	1 防犯対策事業（くらし安全交通課）	2-2
	2 ☆ 交通安全対策事業（くらし安全交通課）	2-2
	3 交通安全施設 ^{※5} 保守・整備事業（土木課）	2-2 / 10-3 / 11-1
	4 ☆ 母子保健事業（健康増進課） ≪再掲≫	4-1
	5 ★ 子ども家庭総合支援事業（子育て支援課・健康増進課）	6-1
	6 子ども医療対策事業（子育て支援課）	6-1
	7 ★ 子育て世帯訪問支援事業（子育て支援課）	6-1
	8 ☆ ひとり親家庭等支援事業（子育て支援課）	6-1
	9 ★ 子どもの居場所づくり支援事業（子育て支援課）	6-2
	10 保育所等整備事業（保育課）	6-2
	11 外国語教育推進事業（指導課）	7-1 / 7-2
	12 教育相談体制支援事業（青少年育成センター）	7-2
	13 コミュニティ・スクール ^{※6} 推進事業（社会教育課）	8-1
	14 ☆ 青少年育成支援事業（青少年育成センター）	8-2
	15 都市公園・緑地維持管理事業（都市計画課）	9-3 / 10-2
	16 ☆ 企業立地促進事業（産業振興課）	13-2
	17 ★ 親子深まる絆事業（政策推進課） ≪再掲≫	14-1
人によりそうやさしい道	1 自主防災組織 ^{※7} 育成事業（危機管理室）	1-2
	2 ★ 指定福祉避難所 ^{※8} 備蓄物資購入等補助事業（高齢者支援課・障がい者支援課）	1-3
	3 火災予防事業（消防本部予防課）	2-1
	4 交通安全施設保守・整備事業（土木課） ≪再掲≫	2-2 / 10-3 / 11-1
	5 健康よつかいどう21プラン推進事業（健康増進課）	4-1
	6 ☆ 検診事業（健康増進課）	4-1
	7 ☆ 一般介護予防事業（高齢者支援課）	5-1
	8 地域包括支援センター ^{※9} 運営事業（高齢者支援課）	5-1
	9 基幹相談支援センター ^{※10} 運営事業（障がい者支援課）	5-2
	10 ★ 子どもの学習・生活支援事業（社会福祉課）	5-3
	11 生涯学習推進事業（社会教育課）	9-1
	12 都市公園・緑地維持管理事業（都市計画課） ≪再掲≫	9-3 / 10-2
	13 グリーンスローモビリティ ^{※11} 推進事業（くらし安全交通課）	10-3 / 11-2
	14 ★ 自転車ネットワーク計画事業（土木課・市街地整備課）	11-1
	15 ☆ 交通計画推進事業（くらし安全交通課）	11-2
	16 ★ 多文化共生推進事業（みんなで課）	15-3
	17 ★ 自治体DX推進事業（デジタル推進課） ≪再掲≫	行財政運営

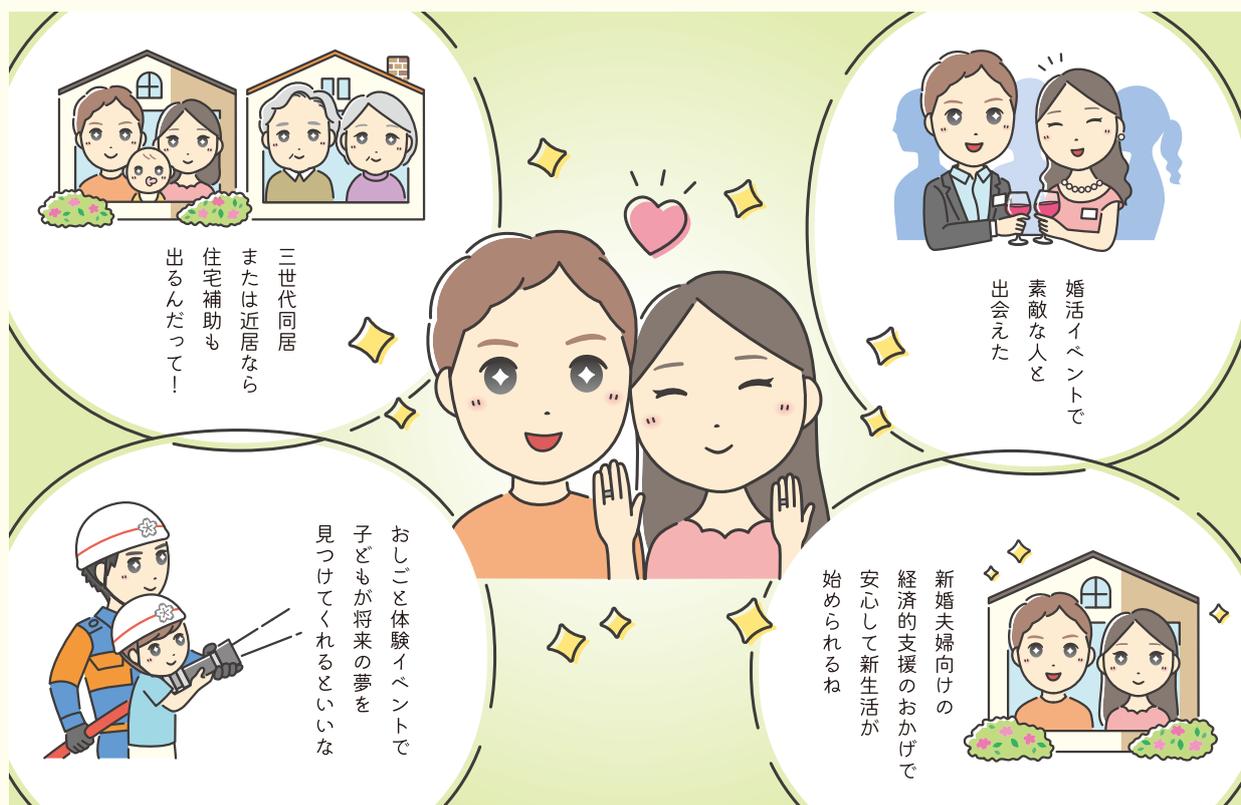
未来を応援する道

社会的環境が大きく変化する中でも、子どもたちが将来の夢や希望をもつ、若者が夢の実現に向けて努力する、だれもが未来を切り拓くために挑戦する、そんな人を支えられる四街道であることが大切です。未来を見据え、みんなで次代の主役たちが躍動する土台を整えることで、夢や希望に満ちたまちに向け、未来を応援するまちづくりを進めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値
1 地域に応援されていると感じる人の割合	調査未実施のため現状値なし	50.0%
2 夢や目標をもっている児童生徒の割合	小学生 79.7% 中学生 68.0%	全国平均以上かつ増加
3 未来応援サポート事業者※1 数	新規事業のため現状値なし	25事業者



重点事業 ☆新規事業・☆拡充事業に関する取組

- | | | |
|--|----------------------------------|---------|
| 1 | ★消防オープンイノベーション事業 | 消防本部総務課 |
| 未来を担う子どもたちを対象に、消防・救急に関する教育機会の充実を図るため、新たに出張型の消防イベントを定期的に開催します。 | | |
| 2 | 都市計画道路整備事業 | 市街地整備課 |
| 中心市街地の渋滞緩和や、災害時の交通アクセスを強化することを重要な視点として、都市計画道路の整備を進めます。優先的に都市計画道路3・3・1号山梨白井線や都市計画道路3・4・7号南波佐間内黒田線の整備を進めます。 | | |
| 3 | ☆母子保健事業 | 健康増進課 |
| 健やかな子育てを推進するため、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援として、妊産婦、乳幼児を対象とした相談・健診・各種教室の開催や家庭訪問を行います。また、多様化する子育て世代のニーズに対応するため、母子保健に関する情報のデジタル化を推進します。 | | |
| 4 | ★YOTSU♥LOVE事業 | 政策推進課 |
| 結婚を希望する若い世代の結婚活動を支援するため、デジタル技術を活用した仮想空間において、出会いの場を創出します。 | | |
| 5 | ☆結婚新生活応援事業 | 政策推進課 |
| 市のイメージアップを図り、若い世代の定住促進につなげるため、転入された方や結婚する二人の思い出に残るような記念フォトブースを市役所庁舎に設置します。また、若者の結婚に伴う経済的な支援を行うため、結婚を機に市内で新生活をはじめ新婚夫婦を支援します。 | | |
| 6 | キャリア教育 ^{※2} 推進事業 | 指導課 |
| 将来の夢や希望を抱き、社会の中で自分らしい生き方を見出すことができるよう、子どもたちが地域と連携した体験的な活動にも取り組みながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる力を育成する市内小中学校の取組を支援します。 | | |
| 7 | 中学生が描く未来事業 | 総務課・指導課 |
| 自分たちが暮らす四街道への関心を高めてもらうため、市の将来を担う中学生生徒から「理想のまち」をテーマとした作文を募集し、優秀な作品についての発表機会を設け、表彰を行います。 | | |
| 8 | ★図書館魅力創造プロジェクト事業 | 社会教育課 |
| 市民等の交流・文化創造を支援する図書館づくりとして、「本を借りる」だけにとどまらないさまざまな世代が興味関心を寄せ、参画できる事業を実施します。 | | |
| 9 | 三世代同居・近居支援事業 | 建築課 |
| 子育て環境の向上と高齢者が安心して暮らせる地域社会の構築に向け、三世代で同居・近居をする方の住宅取得等の費用を補助します。 | | |
| 10 | ★環境アクションポイント事業 | 環境政策課 |
| 市域における温室効果ガス排出量の削減に向け、環境に配慮した市民の取組を応援するための環境アクションポイント制度 ^{※3} を導入します。 | | |
| 11 | ☆ごみ減量化・リサイクル推進事業 | 廃棄物対策課 |
| ごみの減量化やリサイクルを推進するため、さまざまな団体と連携しながら、講座の開催や産業まつり等のイベントにおける啓発活動などを実施します。また、家庭で眠っているおもちゃや本などを集め、子育て世帯で再利用を促す「(仮称)また遊んでねプロジェクト」を実施します。 | | |
| 12 | ★夢応援事業 | 政策推進課 |
| 子どもたちの夢や希望を育むため、関係機関や事業者などの未来応援サポート事業者 ^{※1} と協力して、お仕事体験イベントを開催します。 | | |
| 13 | ★ふるさとの味お届け便支援事業 | 政策推進課 |
| 市の特産品等を詰め合わせたふるさとの味を県外で未来に向けてがんばる学生にお届けし、若者のふるさと四街道への愛着を育みます。 | | |
| 14 | みんなで地域づくりセンター ^{※4} 運営事業 | みんなで課 |
| 市民や市民活動団体による地域課題解決に向けた取組を支援するため、地域づくりに関する総合的な調整・助言を行うコーディネーターを配置するとともに、市民活動団体相互の連携促進やみんなで地域づくり活動のPRを行います。 | | |
| 15 | コラボ四街道事業 | みんなで課 |
| 市民団体と行政の協働による地域課題解決に向け、市民団体が発案するさまざまな事業提案をサポートし、継続的・自立的な市民活動へとつなげます。 | | |
| 16 | ★自治体DX推進事業 | デジタル推進課 |
| 市民の利便性の向上や行政運営の効率化を図るため、国の自治体DX推進計画に基づき、自治体情報システムの標準化・共通化に向けた環境構築を行うなど、デジタル化の推進を図ります。ライフステージにかかわらず、みんながデジタル化の恩恵を受けられるよう、スマートフォン講習会の開催などにより、デジタルデバインド(情報格差) ^{※5} の解消に取り組みます。 | | |
| 17 | ファシリティマネジメント ^{※6} 推進事業 | 管財課 |
| 施設の適正な配置と保有量の縮減を実現し、財政負担を縮減するため、公共施設等の最適化に向けた長期的な視点による施設マネジメントにより、計画的な施設の整備や長寿命化、公有地の有効活用を図るとともに、施設機能の統廃合の検討を進めます。 | | |

※1、3…P120参照 ※2、4、6…P119参照 ※5…P118参照

重点
プロジェクト

ふるさとを誇れる道

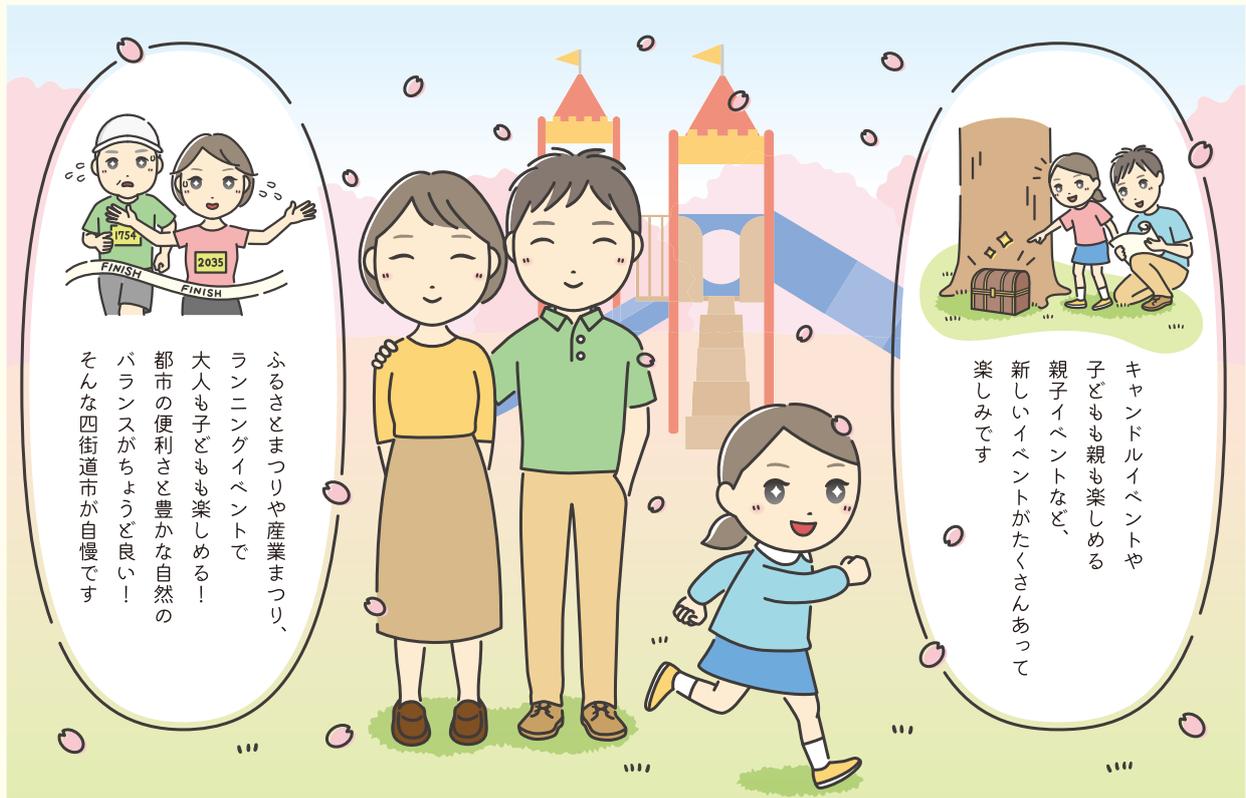
選ばれるまちであるためには、積み重ねられてきた歴史や、豊かな自然環境を継承しながら、いつまでも魅力あふれる四街道であることが大切です。

地域資源である人・自然・歴史を活かした魅力あるふるさとづくりを行うことで、子どもから高齢者まで、みんなが好きなまちに向け、ふるさとを誇れるまちづくりを進めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値
1 四街道を好きと感じる人の割合	74.7% (令和3年度)	76.0%
2 四街道市をふるさとであると感じる児童生徒の割合	小学生 72.3% 中学生 64.1%	小学生 79.2% 中学生 74.5%
3 観光入込客数	97,361人	117,408人



重点事業 ★新規事業・☆拡充事業に関する取組

1	文化財保護管理事業	文化・スポーツ課
	四街道の歴史を後世に伝えるため、歴史と文化を学ぶ機会として、市内の文化財を巡るイベントの開催や、小学校等の地域学習の受け入れを行います。	
2	ランニングイベント事業	文化・スポーツ課
	市民等の健康維持や体力向上のため、みんなが楽しめるランニングイベントを開催します。	
3	緑化推進事業	都市計画課
	緑の保全と緑化を推進するため、市民団体等との協働により、市民の森 ^{*1} をはじめとした緑の拠点を適正に管理するとともに、自然にふれあう体験イベントを開催します。	
4	☆ 自然環境対策事業	環境政策課
	貴重な自然をこれからも引き継いでいくため、ホタル自生地をはじめとした自然環境保全地区 ^{*2} を選定し、市民団体等との協働による保全体制を構築します。また、自然に親しめる観察ツアーを開催するほか、外来生物の捕獲・駆除等を実施し、生物多様性の保全・回復を図ります。	
5	★ 農商工等連携推進事業	産業振興課
	市民の雇用機会の創出と、地域経済の活性化を図るため、農業者と事業者等の交流を促進し、既存のイベントのブラッシュアップを図るとともに、農商工等連携マルシェ ^{*3} など、新規イベント等を創出します。	
6	中心市街地等活性化事業	産業振興課
	中心市街地の活性化に向け、空き店舗等の活用促進を図るほか、賑わい創出に向けたイベントや商店会等の後継者育成を支援します。また、商工会等と連携し、創業支援等に取り組みます。	
7	産業まつり実施事業	産業振興課
	生産者や事業者、消費者の交流を促進するため、産業まつりを開催し、採れたての農作物や市内のグルメ、商工業製品などの展示や即売などを行います。	
8	★ 親子深まる絆事業	政策推進課
	市外からの交流人口の増加を図るため、子どもも大人も参加できる体験型イベントなど、まちのにぎわいを生むさまざまなイベントを開催します。また、市が行う親子イベント情報を集約して発信し、ふるさと四街道での想い出づくりをサポートします。	
9	★ 夢応援事業 <<再掲>>	政策推進課
	子どもたちの夢や希望を育むため、関係機関や事業者などの未来応援サポート事業者 ^{*4} と協力して、お仕事体験イベントを開催します。	
10	☆ 観光支援事業	産業振興課
	交流人口の増加に向け、四街道の魅力的な地域資源を旅行商品や体験プログラムとしてパッケージ化し、効果的に発信します。また、ツーリズム拠点の整備やシェアサイクル ^{*5} の導入に向けた取組を支援します。	
11	★ 笑顔の灯り事業	政策推進課
	ふるさと四街道の魅力を高め、たくさんの笑顔を生む新たなイベントとして、若者や子どもたちとともに考える四街道に灯りを照らすキャンドルイベントを開催します。	
12	★ モニュメント新設事業	政策推進課
	ふるさと四街道のイメージアップや認知度向上に向け、新たな市役所庁舎に撮影スポットとなるサインモニュメントを設置します。	
13	★ シンボルツリー de 銘板制作事業	政策推進課
	新たな市役所庁舎において、シンボルツリーとして、市の木であるサクラを模した銘板を設置して、四街道への関心を高めます。	
14	ふるさと応援推進事業	産業振興課
	ふるさと寄附に対する返礼品を通じ、四街道の魅力ある特産品をPRするとともに、交流人口の増加につながる体験等の返礼品を企画し、四街道への愛着を育みます。	
15	ふるさとまつり事業	みんなで課
	ふるさと意識の醸成を進めるため、老若男女が一堂に集い、市民同士がふれあう郷土の祭りである四街道ふるさとまつりを開催します。	
16	まち撮り四街道事業	みんなで課
	市民活動等で活躍している市民や市民団体にスポットを当てて発信することで、団体等の活動を支援するとともに、四街道の魅力や残したい風景を市内外に広く周知します。	
17	シティプロモーション^{*6}推進事業	政策推進課
	四街道が持つさまざまな魅力を四街道市PR大使 ^{*7} とともに積極的に市内外に発信し、市の認知度向上とイメージアップを図り、市への愛着を育むとともに、移住定住を促進し、地域の活性化を図ります。	

※1…P118参照 ※2～5、7…P120参照 ※6…P119参照

重点
プロジェクト

こどもがまんなかの道

今を創り、未来を支えていくためには、現役世代が安心して生活できる環境のもとで活躍しながら、未来を担う子どもたちが健やかに成長できる四街道であることが大切です。

子どもの目線に立ち、子育てを地域みんなで支えることで、子どもも大人もみんなが楽しみながら自分の可能性を広げていけるまちに向け、こどもがまんなかのまちづくりを進めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値
1 子育てしやすいと感じる人の割合	80.1%	84.1%
2 合計特殊出生率 ^{*1}	1.43 (令和3年度)	1.58
3 予定している子どもの人数(子育て世帯)	2.08人	現状値以上



重点事業 ★新規事業・☆拡充事業に関する取組

1	防犯対策事業	くらし安全交通課
	地域防犯力の向上に向け、地域や警察などの関係機関、関係団体などが一体となった防犯活動を推進します。また、地域団体が行う地域防犯活動への支援を行うほか、防犯カメラの効果的な運用による犯罪の抑止、早期解決に努めます。	
2	☆ 交通安全対策事業	くらし安全交通課
	安全なまちの実現に向け、交通安全教室の実施や交通安全施設 ^{※2} 等（信号機・横断歩道）の設置要望、地域における交通安全活動の推進を行う団体への補助を行います。また、交通安全意識の向上と交通事故の被害軽減を図るため、児童生徒を対象に、自転車乗車用ヘルメットの購入費用の一部を補助します。	
3	交通安全施設保守・整備事業	土木課
	道路の円滑な交通確保と交通事故の防止に向け、交通安全施設の新規設置、交換、再設置を行うとともに、歩道部段差解消などのバリアフリー工事を実施します。	
4	☆ 母子保健事業 <<再掲>>	健康増進課
	健やかな子育てを推進するため、妊娠前から子育て期まで切れ目のない支援として、妊産婦、乳幼児を対象とした相談・健診・各種教室の開催や家庭訪問を行います。また、多様化する子育て世代のニーズに対応するため、母子保健に関する情報のデジタル化を推進します。	
5	★ 子ども家庭総合支援事業	子育て支援課・健康増進課
	子育て家庭を包括的に支援するため、子ども家庭総合支援拠点 ^{※3} と子育て世代包括支援センター ^{※4} を一体化したこども家庭センターを設置し、児童福祉と母子保健の一元的なマネジメント体制を構築します。	
6	子ども医療対策事業	子育て支援課
	子どもの保健対策の充実や保護者の経済的負担の軽減を図るため、高校3年生までの通院・入院に要する子どもの医療費を助成します。	
7	★ 子育て世帯訪問支援事業	子育て支援課
	家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐため、家事・育児等に対して不安・負担を抱えた要支援家庭や支援の必要性の高い妊産婦宅を訪問し、子育てに関する情報の提供、家事・養育に関する援助等を行います。	
8	☆ ひとり親家庭等支援事業	子育て支援課
	ひとり親家庭等の生活の安定を図るため、医療費の助成、入学等祝金の支給、就業促進と自立支援を目的とした助成、中学生を対象とした学習支援を行います。	
9	★ 子どもの居場所づくり支援事業	子育て支援課
	子どもの健やかな成長や地域の人々との触れ合い、豊かな人間性や社会性を育むため、子ども食堂 ^{※5} などを運営する団体への支援を行い、地域の多様な人々と子どもの交流の場となる子どもの居場所づくりを推進します。	
10	保育所等整備事業	保育課
	民設・民営による認可保育所 ^{※6} 等の整備を図るため、整備費の補助金を交付します。	
11	外国語教育推進事業	指導課
	児童生徒の外国の生活・文化への興味関心やコミュニケーション能力を高めるため、外国語指導助手 ^{※7} を中学校に配置するとともに、小学校にも派遣し、義務教育9年間を見通した外国語教育を実施します。また、生徒の英語学習への意欲と英語力の向上のため、市内中学校3年生を対象に、実用英語技能検定（英検）の検定料を年1回支援します。	
12	教育相談体制支援事業	青少年育成センター
	不登校及びその傾向がある子ども一人ひとりの状況に応じた支援ができるよう、スクールカウンセラー ^{※8} ・スクールソーシャルワーカー ^{※9} 等による教育相談を行います。また、校内教育支援センター ^{※10} 等、安心して学習に取り組める居場所づくりを行います。	
13	コミュニティ・スクール推進事業	社会教育課
	地域とともにある学校づくりに向け、保護者等や地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクール ^{※11} を推進します。	
14	☆ 青少年育成支援事業	青少年育成センター
	不登校児童生徒を中心とした子どもたちに学校や家庭以外の居場所を提供するために、NPO団体等と連携し、キャンプや自炊、工作や遊び等の体験活動への支援を行います。	
15	都市公園・緑地維持管理事業	都市計画課
	都市公園・緑地の維持管理について、指定管理委託や破損した遊具・施設の補修工事等を実施するとともに、みんなが安心して利用できるインクルーシブ遊具 ^{※12} や複合遊具の設置を進めます。	
16	☆ 企業立地促進事業	産業振興課
	地元雇用に配慮した企業の立地促進を図るため、地元企業の事業拡大等への支援を行うとともに、新たに市内に進出する企業等に対する補助制度を運用し、雇用を創出します。	
17	★ 親子深まる絆事業 <<再掲>>	政策推進課
	市外からの交流人口の増加を図るため、子どもも大人も参加できる体験型イベントなど、まちのにぎわいを生むさまざまなイベントを開催します。また、市が行う親子イベント情報を集約して発信し、ふるさと四街道での想い出づくりをサポートします。	

重点
プロジェクト

人によりそうやさしい道

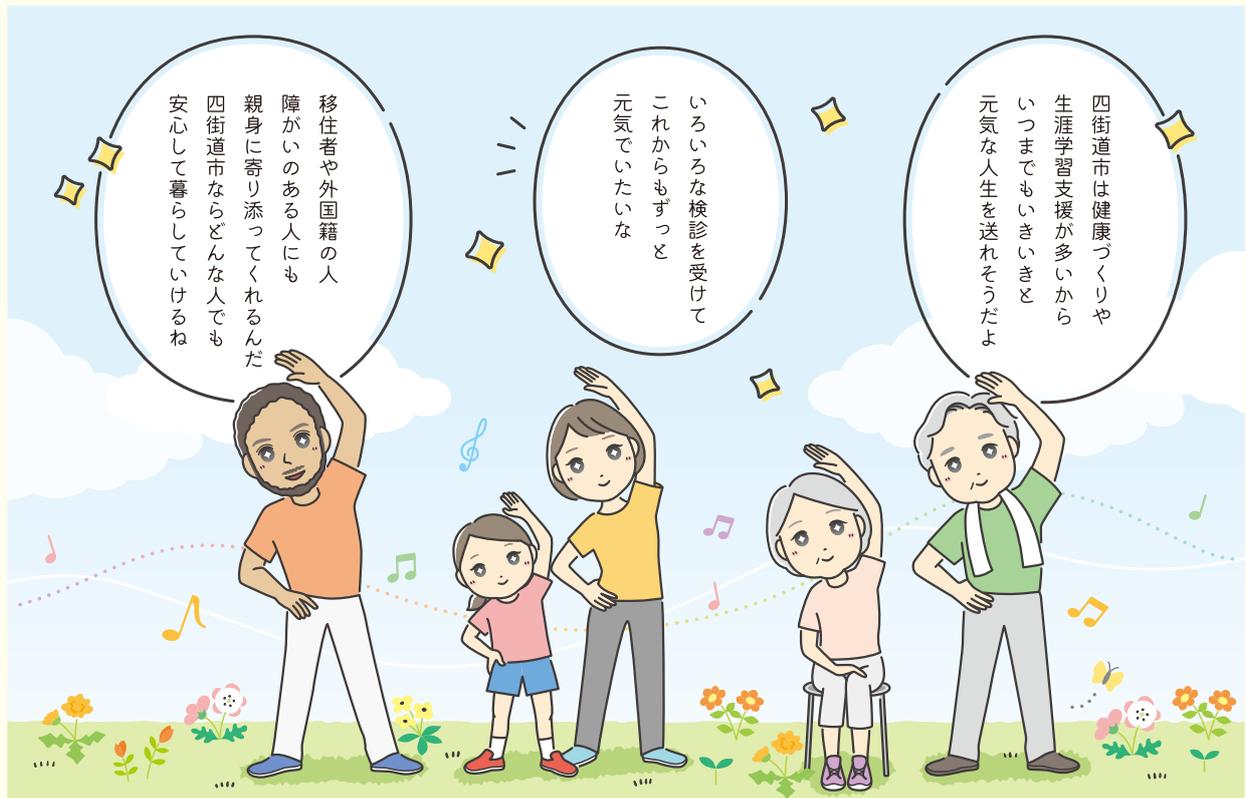
障がいのある人もない人も、さまざまな人が暮らすこのまちでは、だれにとっても住みやすく、生涯活躍できる、みんなが主役の四街道であることが大切です。

みんなが快適に過ごせる環境のもとで、いつまでも健康で、自分らしく生きがいをもって暮らしていけるまちに向け、人によりそうやさしいまちづくりを進めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値
1 住み良いと感じる人の割合	79.0% (令和3年度)	82.0%
2 毎日を健やかに充実して暮らせていると感じる市民の割合	80.5%	81.0%
3 現在お住まいの地域との関わりについて、満足している市民の割合	67.1% (令和2年度)	72.0%



重点事業 ★新規事業・☆拡充事業に関する取組

1	自主防災組織^{※1}育成事業	危機管理室
	災害による被害の防止、軽減を行うための地域防災力向上に向け、自主防災組織の発足を促進し、防災リーダー育成支援や、自治会等による自主的な防災訓練等の活動、防災資器材購入を支援します。また、災害に備え、自助・共助・公助の役割分担と連携により、避難所の開設・運営を円滑に行うため、避難所運営委員会 ^{※2} の活動を推進します。	
2	★指定福祉避難所^{※3}備蓄物資購入等補助事業	高齢者支援課・障がい者支援課
	高齢者や障がいのある人が住み慣れた地域で生活を継続するため、災害時に安心して避難できる環境の整備に向けた、指定福祉避難所における備品や備蓄物資の購入を支援します。	
3	火災予防事業	消防本部予防課
	火災発生の未然防止や、火災被害の最小化のため、住宅用火災警報器の設置を促進するほか、75歳以上のひとり暮らしの高齢者や高齢者のみで構成する世帯に住宅用火災警報器を給付するとともに、取付けを支援します。	
4	交通安全施設^{※4}保守・整備事業 <再掲>	土木課
	道路の円滑な交通確保と交通事故の防止に向け、交通安全施設の新規設置、交換、再設置を行うとともに、歩道部段差解消によるバリアフリー工事を実施します。	
5	健康よつかいどう21プラン推進事業	健康増進課
	市民の主体的な健康意識を促進するため、健康づくりに取り組むための各種運動教室の開催や啓発活動を推進するとともに、インセンティブを活用し、運動習慣の定着などを図ります。	
6	☆検診事業	健康増進課
	市民の健康保持増進のため、各種がん検診や骨粗しょう症検診等を行うとともに、未受診者への受診勧奨を行います。また、新たに口腔機能 ^{※5} の維持・向上のため、口腔機能検査を行います。	
7	☆一般介護予防事業	高齢者支援課
	介護予防のため、認知症やフレイル ^{※6} の予防などに関する各種教室の開催や週いち貯筋体操 ^{※7} を支援します。また、介護予防事業を地域の実情に応じて効果的に実施していくため、高齢者への調査を実施し、その結果分析を基に介護予防事業の評価を行います。	
8	地域包括支援センター^{※8}運営事業	高齢者支援課
	高齢者の心身の健康保持や生活安定のために必要な支援を行うため、地域包括支援センターにおいて、包括的な支援として介護予防ケアマネジメント ^{※9} や総合相談支援などを実施します。	
9	基幹相談支援センター^{※10}運営事業	障がい者支援課
	障がいのある人が地域で安心して暮らすことができるよう、総合的・専門的な相談支援の実施や地域の相談支援体制の強化等に向けた障がい者基幹相談支援センターを運営します。	
10	★子どもの学習・生活支援事業	社会福祉課
	生活困窮世帯の子どもに対し、学習の援助を行うとともに、生活習慣や進路選択等に必要な情報提供・助言を行います。	
11	生涯学習推進事業	社会教育課
	地域活性化の取組を促進するため、市民の生きがいや心の豊かさにつながる生涯学習活動を支援し、出前講座や、生きがいづくりアシスト事業 ^{※11} 1日体験講座などを実施します。	
12	都市公園・緑地維持管理事業 <再掲>	都市計画課
	都市公園・緑地の維持管理について、指定管理委託や破損した遊具・施設の補修工事等を実施するとともに、みんなが安心して利用できるインクルーシブ遊具 ^{※12} や複合遊具の設置を進めます。	
13	グリーンスローモビリティ^{※13}推進事業	くらし安全交通課
	地域と連携した移動等の支援として、特に高齢化の著しい特定地域である千代田地区において、グリーンスローモビリティを活用した実証実験を行うとともに、さらなる活用の検討を進めます。	
14	★自転車ネットワーク計画事業	土木課・市街地整備課
	良好な都市環境の形成、サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現や、自転車関連事故件数の減少を目的とした安全で快適な自転車通行空間の効果的・効率的な構築に向けて、自転車利用環境の整備を進めます。	
15	☆交通計画推進事業	くらし安全交通課
	市民の利便性向上のための公共交通の維持・充実に向け、地域の実情やニーズを踏まえて住民や交通事業者等の関係者と協議・検討を行い、四街道市内の公共交通に関するマスタープランとなる地域公共交通計画 ^{※14} を新たに作成し、その推進を図ります。	
16	★多文化共生推進事業	みんなで課
	国籍や言語、文化が異なる人々が地域社会の一員として、みんなとともに支え合いながら自分らしく暮らしていけるよう、地域の現況や課題を整理し、多文化共生に関する市の方向性をとりまとめ、さらなる推進を図ります。	
17	★自治体DX推進事業 <再掲>	デジタル推進課
	市民の利便性の向上や行政運営の効率化を図るため、国の自治体DX推進計画に基づき、自治体情報システムの標準化・共通化に向けた環境構築を行うなど、デジタル化の推進を図ります。ライフステージにかかわらず、みんながデジタル化の恩恵を受けられるよう、スマートフォン講習会の開催などにより、デジタルデハイド（情報格差） ^{※15} の解消に取り組みます。	